



■ 1 学期を終えて

～進路手帳を使った振り返りを～

かなり遅めの始業式から2ヶ月が経ち、本日1学期が終わりました。皆さんにとっての日常は戻ったでしょうか？自分がやるべきことはできたでしょうか？その結果を客観的に知りたければ、通知表が教えてくれます。1年生にとっては高校でもらう最初の通知表、2年生にとっては中だるみ（1年生の時のような緊張感、3年生で感じる進路への緊迫感などもなく、気持ちがたるんでしまう状態）への警告、3年生にとっては就職・進学書類に記載される成績となるもの、といった意味があるのではないのでしょうか。通知表を単なる結果で終わらせないようにしてください。提出物が出せたか、授業や期末考査対策にしっかり取り組めたか、その答えが通知表に反映されています。そのため、しっかりと振り返ることが2学期に向けて重要となります。その大きな手助けとなるのが進路手帳です。もう一度、自分の進路手帳を見返してみましょう。生活は乱れていませんか？学習時間の確保はできていましたか？提出締切日は守れていましたか？そこから見えてくることがあるでしょう。それをぜひ、2学期につなげてください。

■ 就職活動開始

7月1日、高卒求人が解禁（企業が求人票を高卒予定者に公開できる）となりました。つまり、この日から就職を希望する高校3年生の就職活動がスタートしたということです。1, 2年生はまだ働くというイメージがつかめない部分があると思いますが、いずれは訪れる「就職」に向けて、ぜひとも情報収集を今から始めましょう。近年の高卒求人数は増加傾向にありますが、今年は減少が心配されていました。でも、新型コロナウイルス感染症の影響は最小限に留まっています。数字だけを見ると、わずかに減少していますが、例年本校の生徒が希望する企業の求人票はほとんど届いています。ただし、感染症拡大や東京オリンピックの開催をめぐる延期や中止の問題等からみ、今後景気が下降する可能性があるため、求人数が多いからといって内定（採用予定）をもらえるとは限りません。そのため、内定をもらえるよう、努力していくことが大切です。

ここでは、就職希望者に必要なことと今後の日程を簡単に紹介しておきます。

なお、本校の3年生の就職希望者には、夏休みはほとんどないということを知っておいてください。

< 必要なこと >

- ① なぜ就職希望なのか（逆にいうと、なぜ進学しないのか）をよく考える。
- ② どんな就職先を希望するのかを考える。
→ 「好き」「雰囲気」だけでは就職はできません。
- ③ 自分の得意なこと、アピールポイントを探す。
- ④ 会社についての研究をする（求人票、インターネット、会社案内等）

< 日程 >

7月	会社見学申込
8月25日(火)	就職推薦願メ切
9月4日(金)	就職推薦会議
10月5日(月)	就職応募書類発送

今年は就職試験が1ヶ月遅くなりました。(コロナ禍の影響)



※ (参考) 8月28日(金) 進学希望者推薦願メ切